

心の復興・コミュニティ形成は

相談支援、既存組織の活動支援等に努める



関 清 貴 議員
(政 和 会)

問 東日本大震災から10年となる。心の復興、コミュニティ形成の施策が求められているが、震災前の生活を取り戻し、未来に向けた生活を送るには孤立防止、近隣住民同士の新たなコミュニティが重要であろうと考えるがどうか。

佐藤町長 町社協の生活支援相談員事業を3年度も継続する。また、コミュニティの構築については既存組織の育成・活動支援を進めたい。

問 今後の見通しは。武藤長寿福祉課長 国では5年間を考えている。

高齢者にやさしい地域づくりを

補助金も活用していただきたい

問 飯岡、長崎地区の整備された歩道は勾配もあり、途中休憩するところもなく買い物に行くのに大変である。特に高齢者が休むベンチを設置する考えは。

町長 町が行う考えはない。住民協働推進支援事業補助金を活用すれば可能であると考ええる。

問 町には高齢者にやさしい

しい町づくりをお願いしたいが、ベンチの設置はどのような考え方でできないか。

川守田復興企画課長 地域の実情はそれぞれの地域の方や自治会が一番分かっていると思う。ベンチの設置などは必要に応じて補助金を活用していただきたい。

今冬の水道凍結漏水による減免は

減免はない

問 凍結漏水した場合の水道使用者への請求額の算定方法は。また、他市町村と比べてどうか。

町長 凍結による水道管破損等の漏水は通常の料金で請求となる。近隣市町村も同様である。

問 今冬の凍結は災害級だと思いがそれでも減免

できないのか。

中屋上下水道課長 凍結件数は例年より多かったが大半の方が水抜きやヒーター等の対応をしている。不可抗力の漏水と認定されれば減免できない。

問 独り暮らしの方が急に入院をした場合や長期

不在者が凍結漏水させた場合も減免できないか。

上下水道課長 検針の際過去のデータと比較して異常があれば検針員や担当者から連絡している。不在の場合は水道の止水もできる。水道使用者の責任で対応していただきたい。減免はできない。



ひとやすみベンチ設置で高齢者にやさしい町づくりを

その他の質問

- ◆ 日本海溝・千島海溝型周辺地震、津波の防災対策は
- ◆ 誘致企業等のために山田北インターのフル化は
- ◆ 磯焼け対策は
- ◆ 「新道の駅」開設の情報発信は
- ◆ スポーツ少年団への指導・支援は